

Windows11 アップグレードマニュアル

令和5年1月11日

神戸大学 情報基盤センター



[This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 2.1 Japan License.](https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/)

目次

STEP1 アップグレードの前に

アップグレードの前に	・・・ 4ページ
------------	----------

STEP2 インストールメディアの準備

インストールメディアの準備	・・・ 5ページ
---------------	----------

STEP3 アップグレード

1. 新規インストール	・・・ 6ページ
2. 上書きインストール	・・・ 12ページ

STEP4 Windows11の利用について

1. DNSサフィックスの追加	・・・ 16ページ
2. ライセンス認証	・・・ 21ページ
3. Windows Update	・・・ 22ページ

※ Windowsはアップグレードライセンスのため、新規にWindowsをインストールすることはできません。既にWindowsのライセンスを取得しているコンピュータに対してのみの権利となります。

STEP1 アップグレードの前に

Windowsのアップグレードは、事前の確認作業を怠るとこれまで使用していたコンピュータのデータが消える可能性が高く、アップグレード自体も失敗する場合があります。また、アップグレード後のコンピュータの動作を完全に保証するものではありません。

そのため、アップグレードを行う場合はそれらの点を十分に認識した上で、自己責任のもと行ってください。また、アップグレードを行う前には、必ず以下の点を確認してください。

① Windowsはアップグレードライセンスのため、新規にWindowsをインストールすることはできません。既にWindowsのライセンスを取得しているコンピュータに対してのみの権利となります。

② ご利用になっているシステム及びソフトウェアが、Windows11に対応しているかご確認ください。

③ 各コンピュータメーカーやMicrosoft社のホームページでは、Windowsのアップグレードに関するガイドが掲載されています。特に、コンピュータメーカーが掲載しているガイドは、そのメーカーが販売しているコンピュータにおいてWindowsのアップグレードを行う場合の事前の確認事項や注意事項が詳細に記載されています。まずは、アップグレードしようとしているコンピュータのメーカーが掲載しているガイドを確認してください。

以下は主なメーカーのガイドページです。

ONEC

- Windows11へのアップグレード
<https://support.nec-lavie.jp/win11-upgrade/>

OPanasonic

- Windows11サポート評価情報
https://askpc.panasonic.co.jp/win11/up/2022_v22h2.html

OTOSHIBA

- Windows11アップグレード情報
https://dynabook.com/assistpc/osup/windows11/index_j.htm

OFUJITSU

- Windows11スタートガイド
https://azby.fmworld.net/win11/?supfrom=navi_supmenu

④ Microsoft社のホームページでもWindowsのアップグレードに関するガイドや、アップグレードを支援するためのツール等が掲載されています。③と併せてご確認ください。

- Windows11のシステム要件
<https://www.microsoft.com/ja-jp/windows/windows-11-specifications>

⑤ コンピュータの中に保存しているデータのバックアップを外部のハードディスク等に保存してください。特に、重要なデータのバックアップは必ず保存してください。

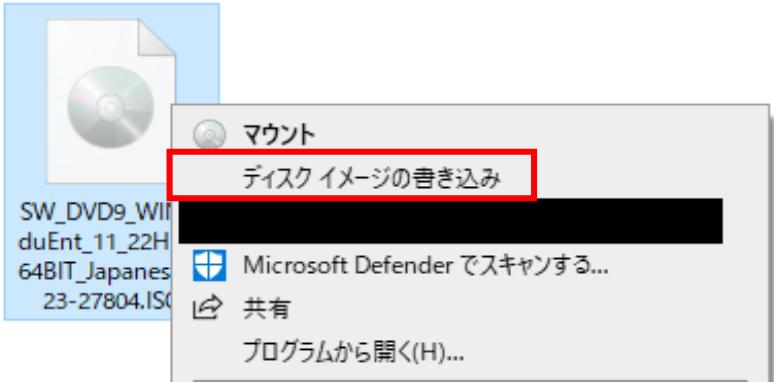
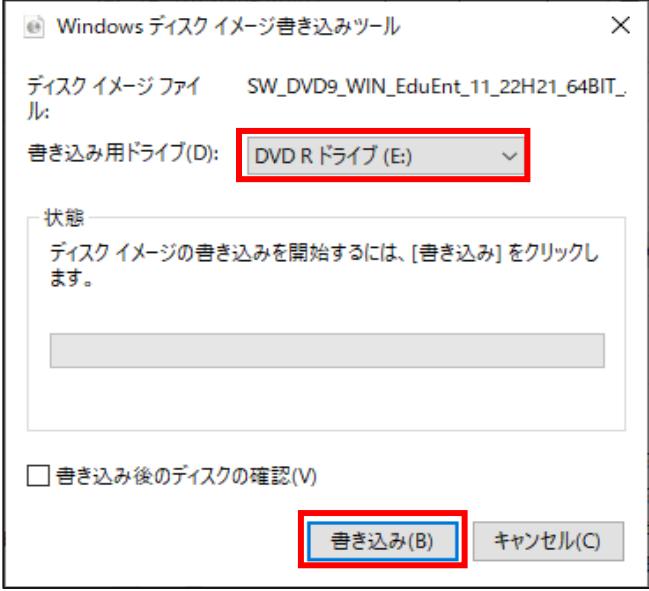
⑥ コンピュータを導入時の状態に戻せるようにリカバリディスクを準備してください。リカバリディスクの作成方法は、コンピュータメーカーで異なりますので、コンピュータ同梱の付属マニュアルか、コンピュータメーカーのホームページを参照してください。

STEP2 インストールメディアの準備

情報基盤センターのホームページから、全学ソフトウェアライセンスのダウンロードシステム（学内限定）にログインし、Windows11をダウンロードします。

ダウンロードシステムより取得するISOファイルは、1枚のメディア（CD、DVD等）の中身を丸ごと1つのファイルに記録したものです。

Windows11のISOファイルはサイズが約5GBと大きいので、通常のDVD-Rに書き込むことはできません。書き込みには、DVD-Rの2倍の容量を持つ**DVD-R DL**をご用意ください。

操作画面	操作手順
	<p>手順1 使用していないDVD-R DLを、書き込み可能なDVDドライブにセットします（左図参考例）。</p> <p>使用するドライブがDVD-R DLへの書き込みに対応しているかどうかは、事前にお調べください。</p>
	<p>手順2 ISOファイルを右クリックし、「ディスクイメージの書き込み」を選択します。</p>
	<p>手順3 書き込み用ドライブを選択した後、「書き込み」をクリックすると、DVD-R DLへの書き込みが開始されます。</p>

STEP3 アップグレード

Windowsのアップグレードの方法には、以下の2種類があります。

・新規インストール（カスタムインストール）
現在お使いのコンピュータの環境を削除し、新規にWindowsをインストールします。
これまでに作成したファイルや個人設定、アプリケーション等は引き継がれません。

・上書きインストール（アップグレード）
現在お使いのコンピュータの環境を新しいWindowsに置き換えます。
これまでに作成したファイルや個人設定、アプリケーション等はそのまま引き継がれます。

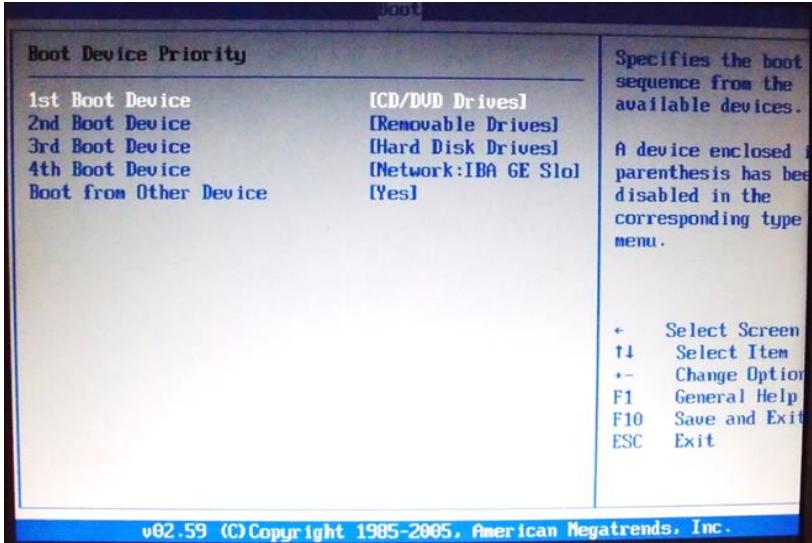
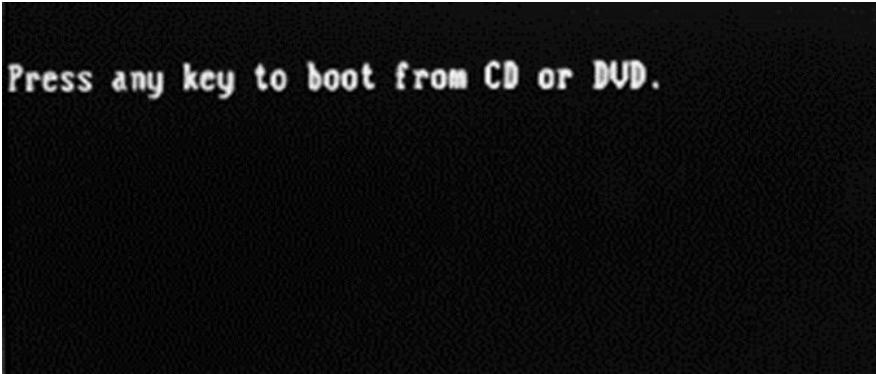
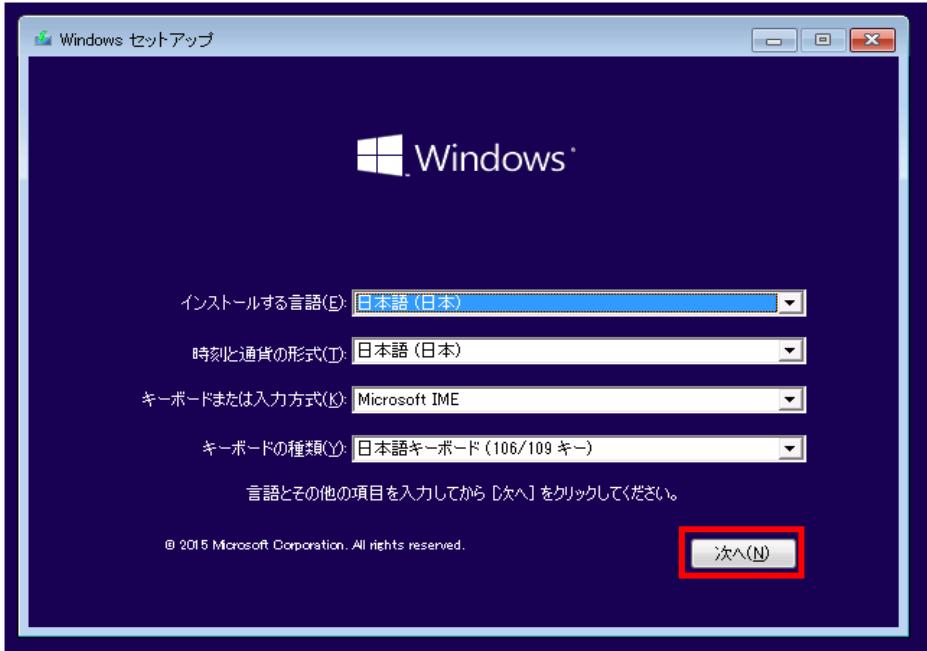
どちらの方法でアップグレードできるかは、現在お使いのWindowsとアップグレードするWindowsのバージョン、コンピュータ等によって異なります。

※Windowsの言語を変更する場合（例えば、日本語版から英語版に変更）は、上書きインストールはできません。新規インストールのみ可能です。

アップグレードする際、OSの選択画面が表示された場合は、
Windows 11 EnterpriseもしくはWindows 11 Educationのどちらかを選択してください。

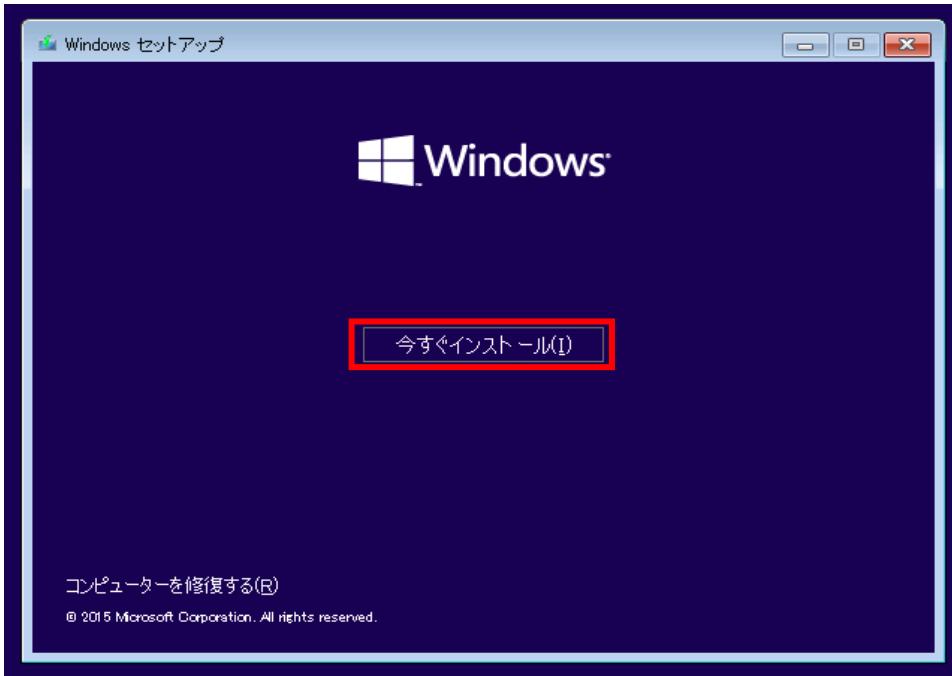
STEP3-1 新規インストール

操作画面	操作手順
<p>サンプル画面</p> 	<p>手順1 起動デバイスの優先順位は、コンピュータによって異なります。現在のWindowsがインストールされているデバイス（通常はハードディスク）がDVDドライブより優先して起動する設定になっている場合、DVDから起動できません。 そこで、DVDドライブがハードディスク等に優先して起動するように、BIOSで設定変更します。 変更方法は、コンピュータのマニュアル等を参照してください。 なお、本マニュアル作成したコンピュータの場合は、左図の起動時画面で「F2」を押すとBIOS設定画面が起動します。</p>

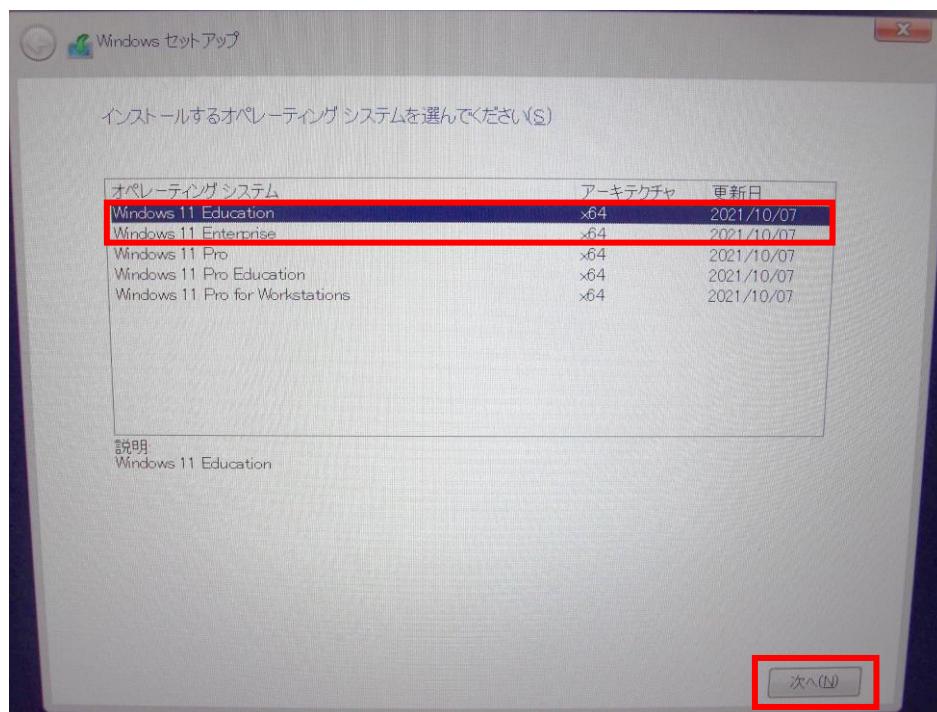
操作画面	操作手順
<p>サンプル画面</p> 	<p>手順2 起動デバイスの優先順位の設定画面に移行し、DVDドライブを優先順位1位に設定します。</p> <p>設定を保存し、終了します。</p>
<p>サンプル画面</p> 	<p>手順3 本マニュアル作成で使用したコンピュータの場合、Windows起動前に左図のメッセージが一瞬表示されるので、適当なキーを押してDVDドライブから起動させます。</p>
	<p>手順4 Windows セットアップ画面が表示されます。「次へ」をクリックします。</p>

操作画面

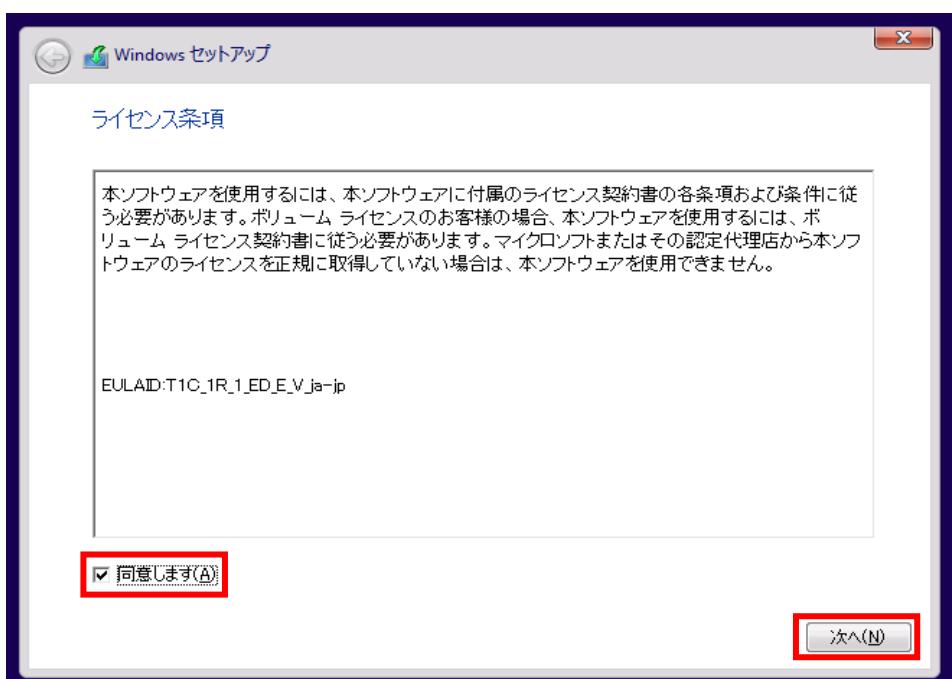
操作手順



手順5
「今すぐインストール」をクリックします。



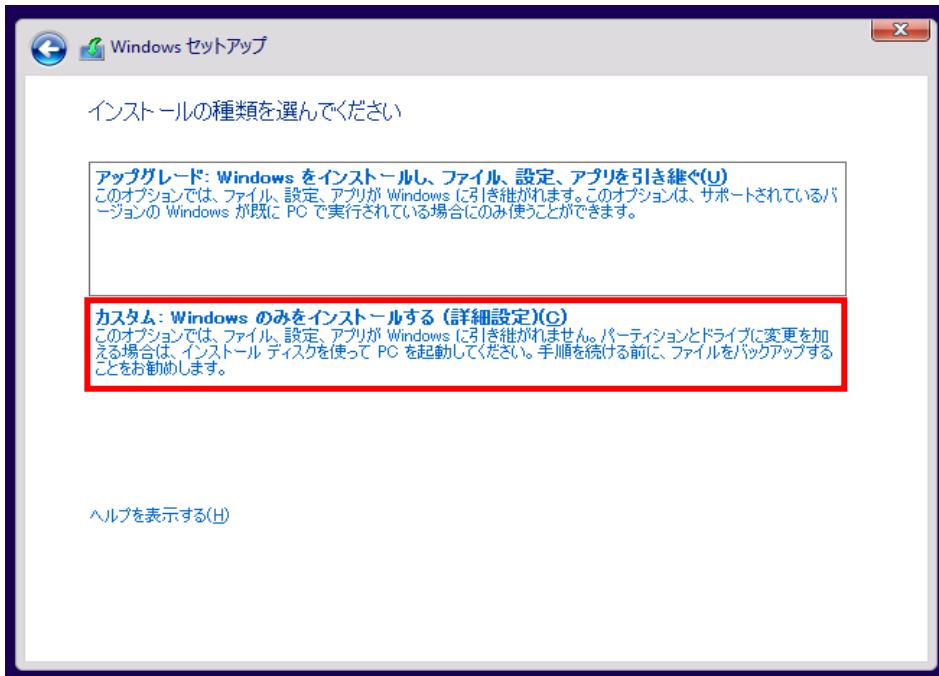
手順6
「Windows 11 Enterprise」、もしくは「Windows 11 Education」を選択した後、「次へ」をクリックします。



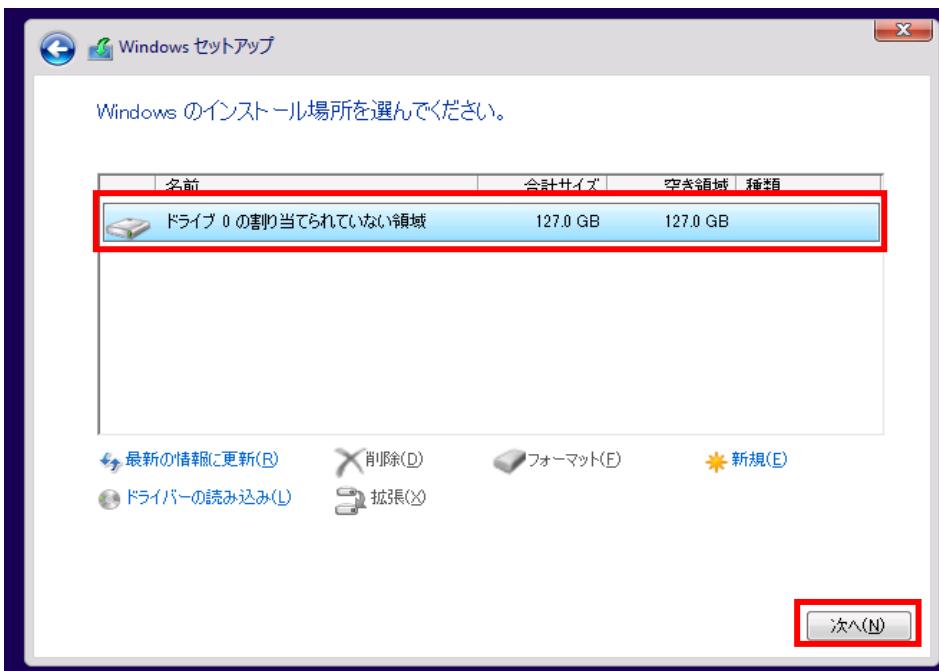
手順7
「同意します」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

操作画面

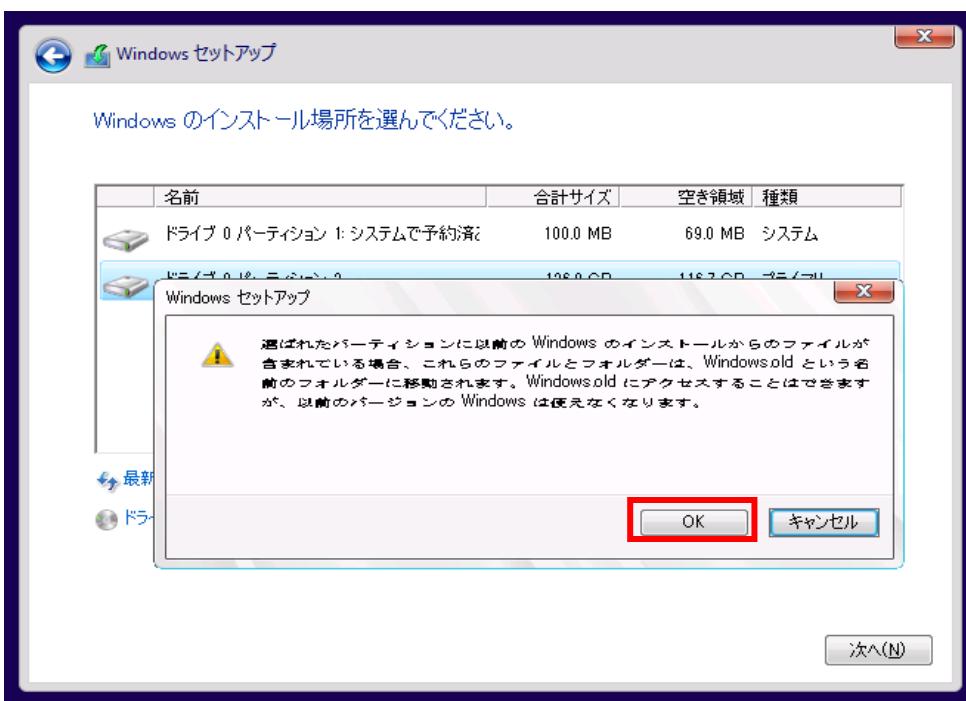
操作手順



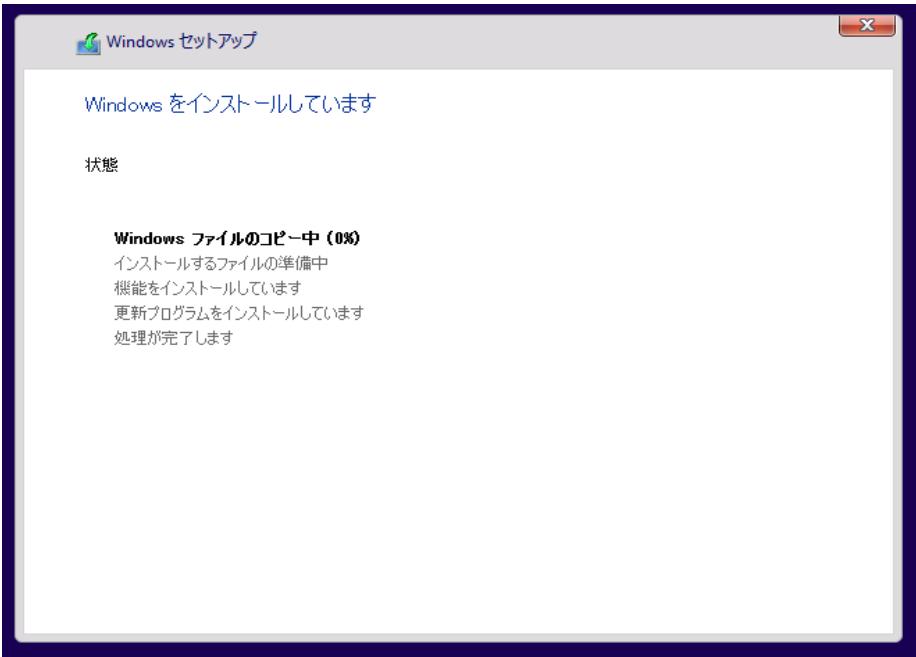
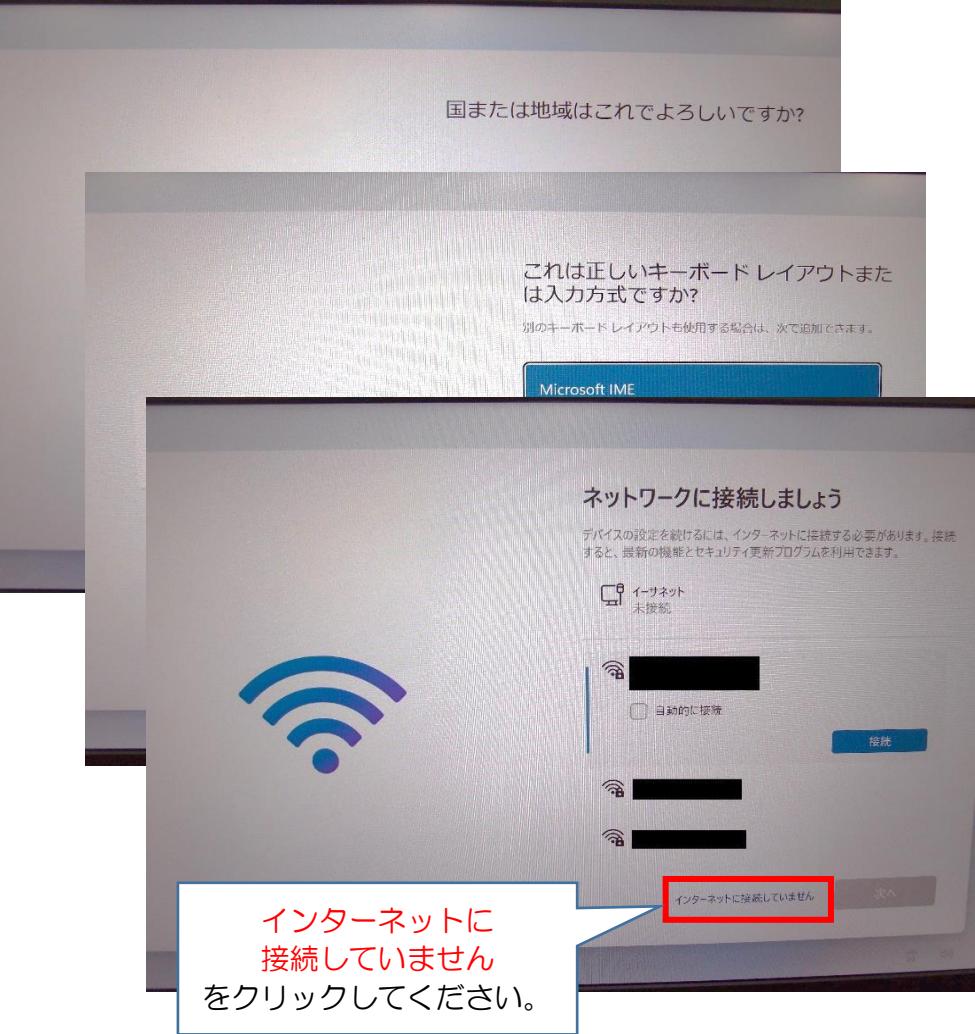
手順8
「カスタム」をクリックします。

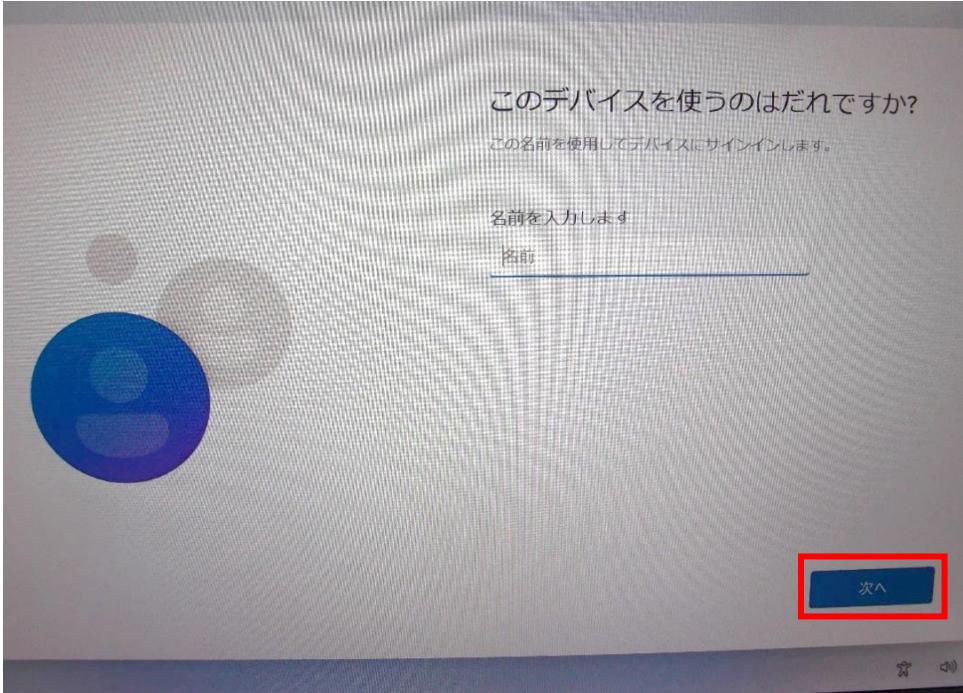
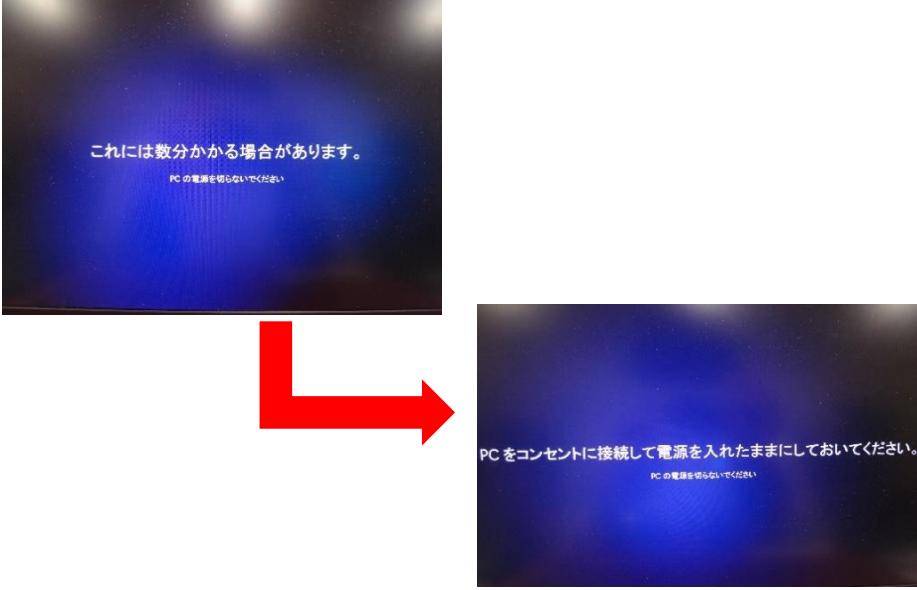


手順9
Windowsのインストール場所を選んだ後、「次へ」をクリックします。

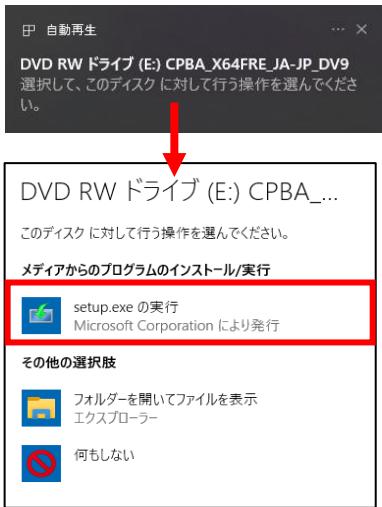
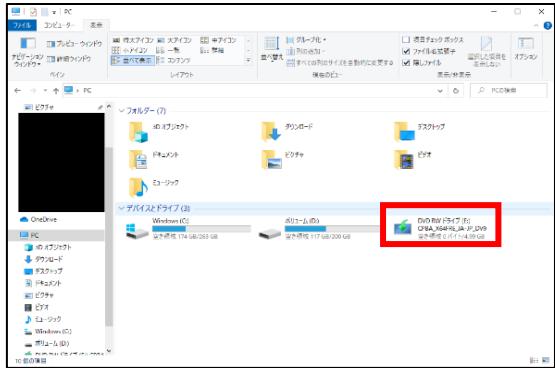
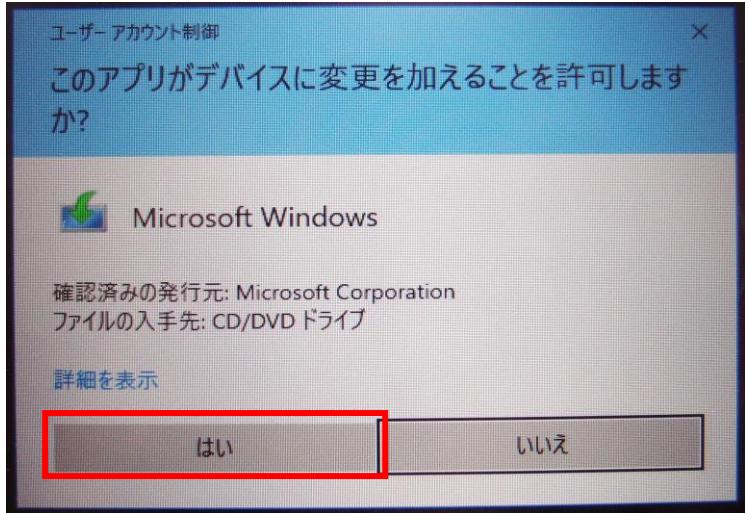
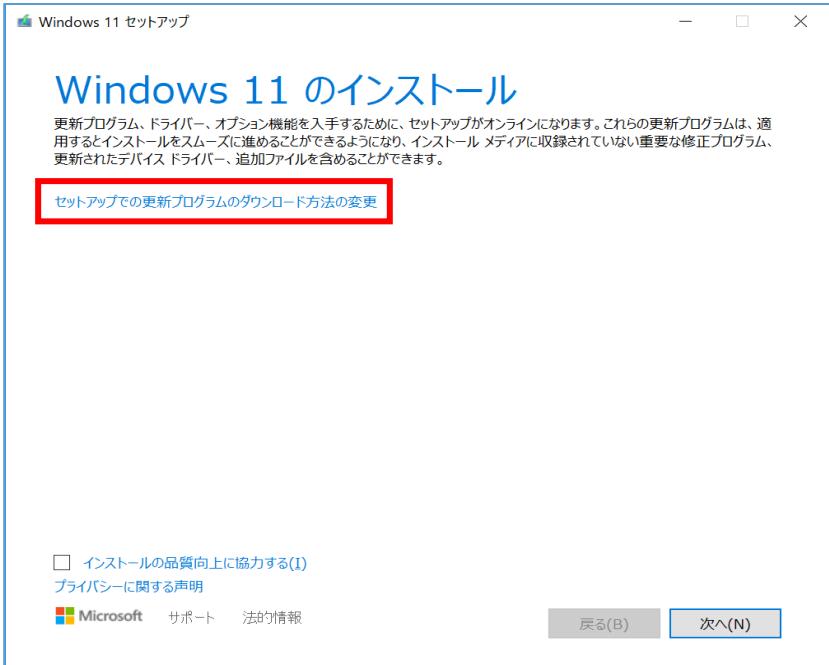


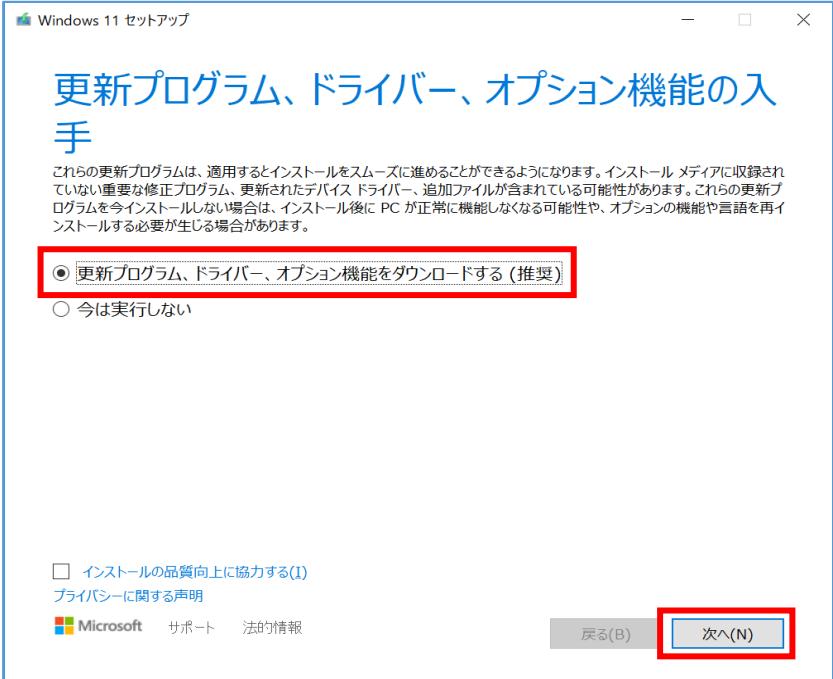
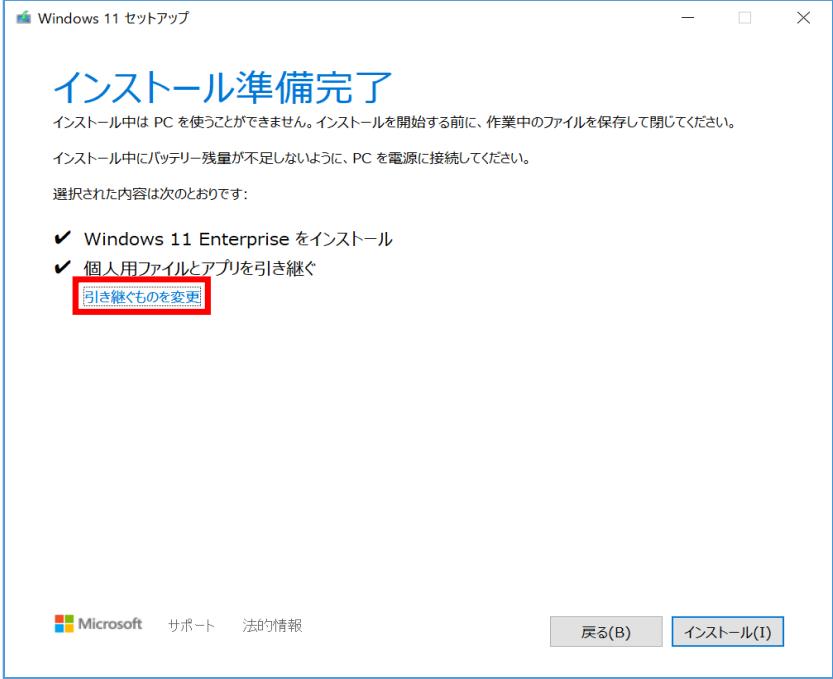
手順10
「OK」をクリックします。

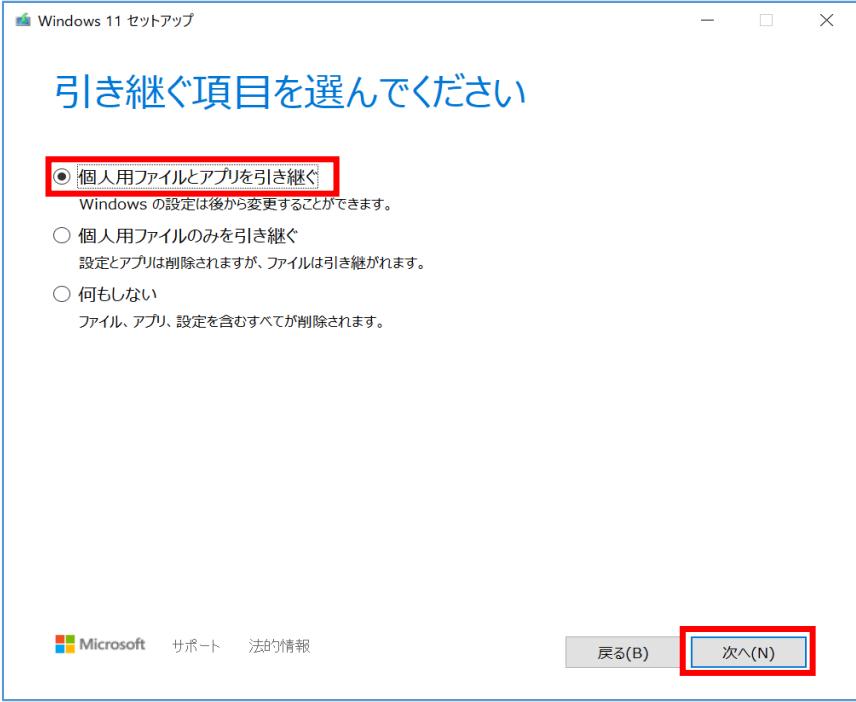
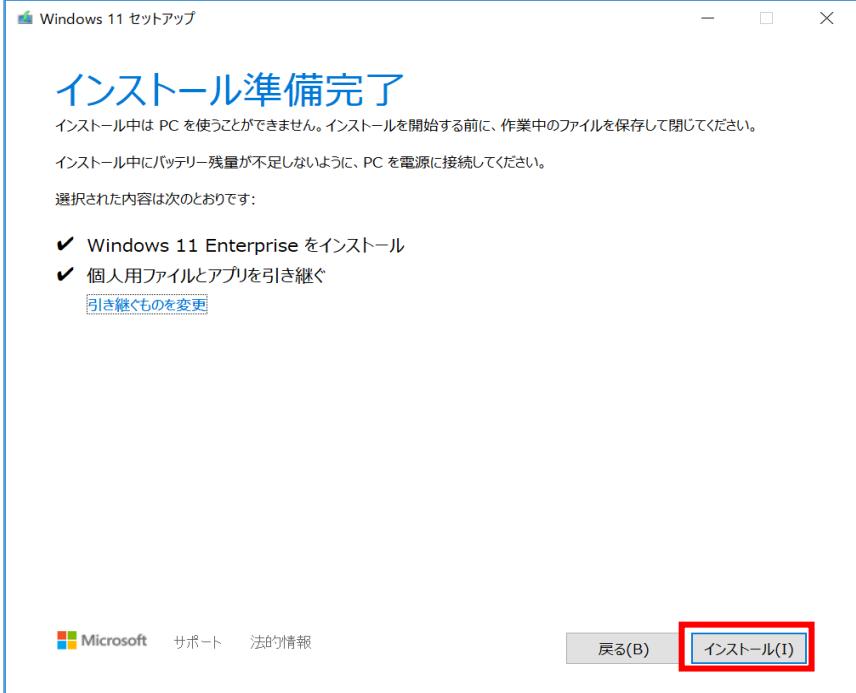
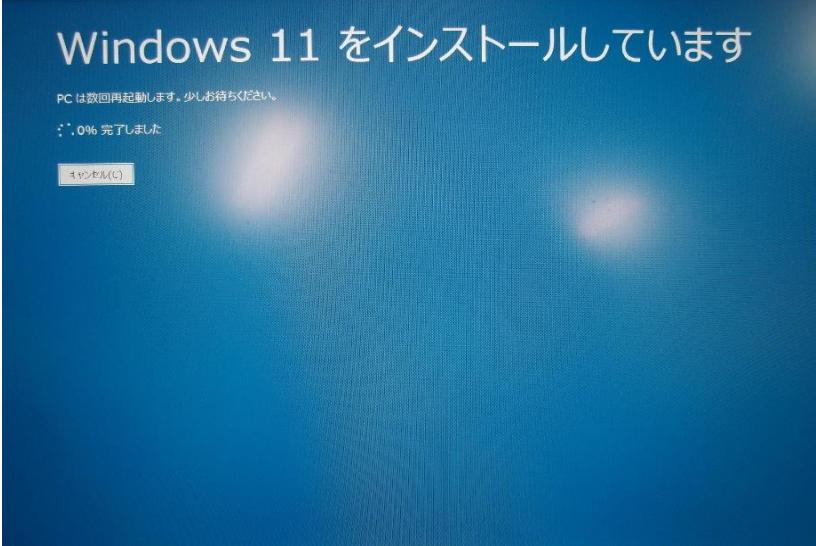
操作画面	操作手順
 <p>Windows セットアップ</p> <p>Windows をインストールしています</p> <p>状態</p> <p>Windows ファイルのコピー中 (0%) インストールするファイルの準備中 機能をインストールしています 更新プログラムをインストールしています 処理が完了します</p>	<p>手順1 1 インストールが始まります。 処理に時間がかかりますので、しばらくお待ちください。</p>
 <p>国または地域はこれよろしいですか？</p> <p>これは正しいキーボードレイアウトまたは入力方式ですか？ 別のキーボードレイアウトも使用する場合は、次で追加できます。</p> <p>Microsoft IME</p> <p>ネットワークに接続しましょう</p> <p>デバイスの設定を続けるには、インターネットに接続する必要があります。接続すると、最新の機能とセキュリティ更新プログラムを利用できます。</p> <p>インターネット 未接続</p> <p>自動的に接続 <input type="checkbox"/></p> <p>接続</p> <p>インターネットに接続していません</p> <p>インターネットに接続していませんをクリックしてください。</p>	<p>手順1 2 コンピュータの再起動後、Windows11のセットアップが始まりますので、適宜設定します。 ただし、ネットワーク接続画面では、「インターネットに接続していません」をクリックしてください。</p> <p>※インターネットに接続した場合、Microsoftアカウントの作成画面が表示されますので、「代わりにドメインに参加する」を選択して、手順1 3に進んでください。</p>

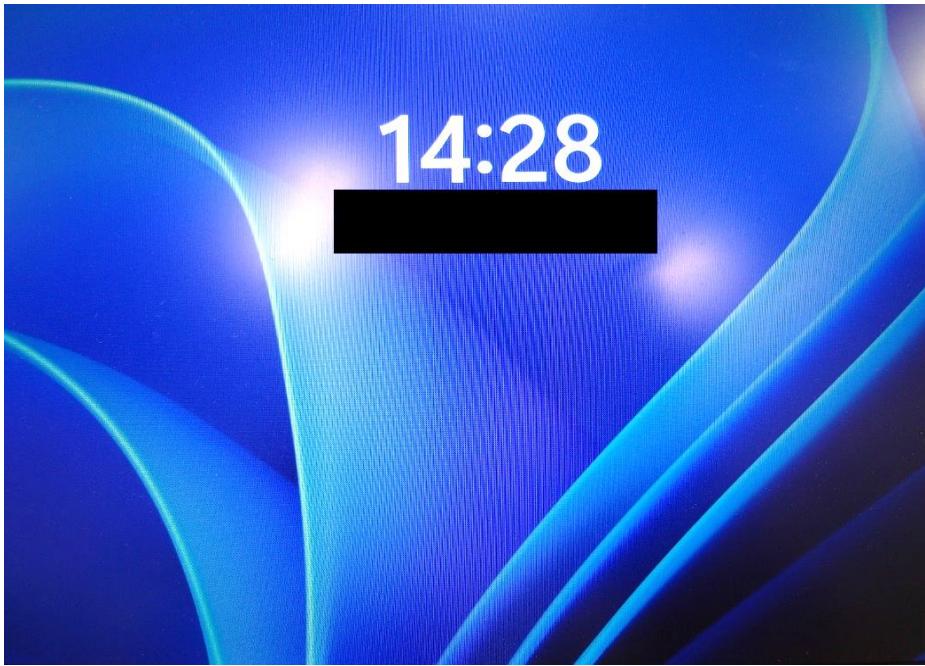
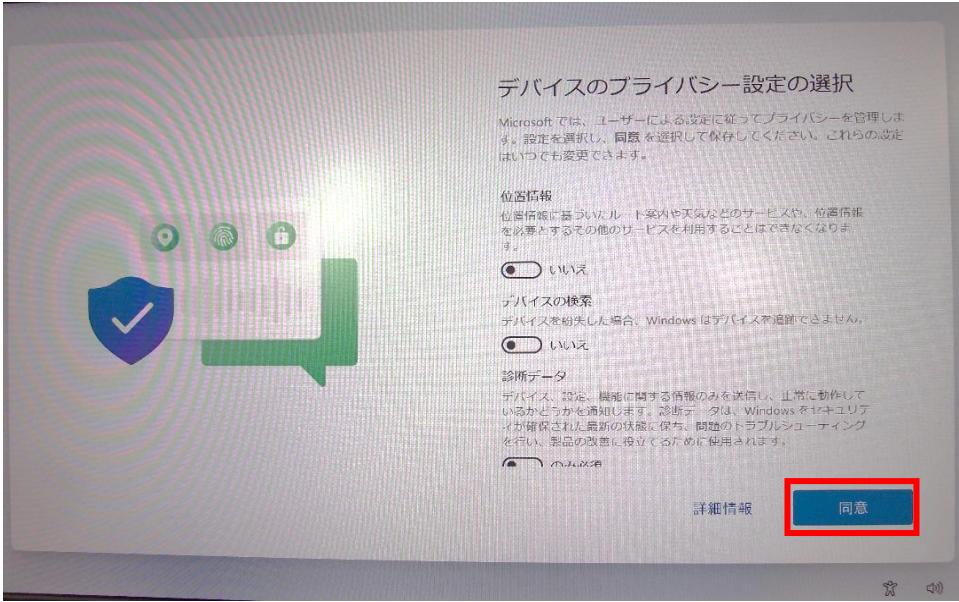
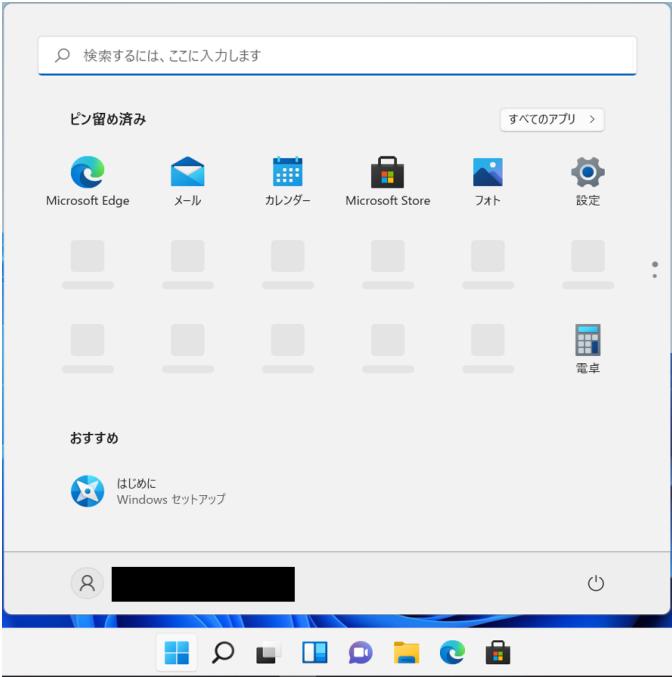
操作画面	操作手順
	<p>手順13 ローカルアカウントの作成画面に移ります。 名前やパスワード、秘密の質問等の全ての項目を入力し、「次へ」をクリックします。</p>
	<p>手順14 処理に時間がかかります。 しばらくお待ちください。</p> <p>Windows11のサインイン画面が表示されたら、作成したローカルアカウントでサインインし、「STEP4 Windows11の利用にあたって」に進みます。</p>

STEP3-2 上書きインストール

操作画面	操作手順
<p>①</p>  <p>②</p>  <p>③</p> 	<p>手順1 作成したDVD-R DLを、コンピュータにセットします。</p> <p>① 「自動再生」画面が表示される場合、「setup.exeの実行」をクリックします。</p> <p>② ①以外の場合は、「エクスプローラー」からDVD-R DLを開きます。</p> <p>③ 「setup」をダブルクリックします。</p>
	<p>手順2 「ユーザーアカウント制御」が表示されますので、「はい」をクリックします。</p>
	<p>手順3 Windows セットアップ画面が表示されます。「セットアップでの更新プログラムのダウンロード方法の変更」をクリックします。</p>

操作画面	操作手順
 <p>Windows 11 セットアップ</p> <h2>更新プログラム、ドライバー、オプション機能の入手</h2> <p>これらの更新プログラムは、適用するとインストールをスムーズに進めることができます。インストールメディアに収録されていない重要な修正プログラム、更新されたデバイスドライバー、追加ファイルが含まれている可能性があります。これらの更新プログラムを今インストールしない場合は、インストール後に PC が正常に機能しなくなる可能性や、オプションの機能や言語を再インストールする必要がある場合があります。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 更新プログラム、ドライバー、オプション機能をダウンロードする (推奨)</p> <p><input type="radio"/> 今は実行しない</p> <p><input type="checkbox"/> インストールの品質向上に協力する (I) プライバシーに関する声明</p> <p>Microsoft サポート 法的情報</p> <p>戻る(B) 次へ(N)</p>	<p>手順4 「更新プログラム、ドライバー、オプション機能をダウンロードする(推奨)」を選択した後、「次へ」をクリックします。</p>
 <p>Windows 11 セットアップ</p> <h2>適用される通知とライセンス条項</h2> <p>重要な内容ですので、よくお読みください。</p> <p>本ソフトウェアを使用するには、本ソフトウェアに付属のライセンス契約書の各条項および条件に従う必要があります。ボリュームライセンスのお客様の場合、本ソフトウェアを使用するには、ボリュームライセンス契約書に従う必要があります。マイクロソフトまたはその認定代理店から本ソフトウェアのライセンスを正規に取得していない場合は、本ソフトウェアを使用できません。</p> <p>Microsoft サポート 法的情報</p> <p>拒否する(D) 同意する(A)</p>	<p>手順5 「同意する」をクリックします。</p> <p>次の操作まで、しばらく時間がかかる場合があります。</p>
 <p>Windows 11 セットアップ</p> <h2>インストール準備完了</h2> <p>インストール中は PC を使うことができません。インストールを開始する前に、作業中のファイルを保存して閉じてください。</p> <p>インストール中にバッテリー残量が不足しないように、PC を電源に接続してください。</p> <p>選択された内容は次のとおりです:</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ Windows 11 Enterprise をインストール ✓ 個人用ファイルとアプリを引き継ぐ <p>引き継ぐものを変更</p> <p>Microsoft サポート 法的情報</p> <p>戻る(B) インストール(I)</p>	<p>手順6 「引き継ぐものを変更」をクリックします。</p>

操作画面	操作手順
 <p>Windows 11 セットアップ</p> <h3>引き継ぐ項目を選んでください</h3> <p><input checked="" type="radio"/> 個人用ファイルとアプリを引き継ぐ Windows の設定は後から変更することができます。</p> <p><input type="radio"/> 個人用ファイルのみを引き継ぐ 設定とアプリは削除されますが、ファイルは引き継がれます。</p> <p><input type="radio"/> 何もしない ファイル、アプリ、設定を含むすべてが削除されます。</p> <p>Microsoft サポート 法的情報</p> <p>戻る(B) 次へ(N)</p>	<p>手順7 「個人用ファイルとアプリを引き継ぐ」を選択した後、「次へ」をクリックします。</p> <p>※OSによっては、選択できない場合があります。その場合は、選択可能なものを選択してください。</p>
 <p>Windows 11 セットアップ</p> <h3>インストール準備完了</h3> <p>インストール中は PC を使うことができません。インストールを開始する前に、作業中のファイルを保存して閉じてください。</p> <p>インストール中にバッテリー残量が不足しないように、PC を電源に接続してください。</p> <p>選択された内容は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ Windows 11 Enterprise をインストール ✓ 個人用ファイルとアプリを引き継ぐ 引き継ぐものを変更 <p>Microsoft サポート 法的情報</p> <p>戻る(B) インストール(I)</p>	<p>手順8 画面に表示されている内容を確認の上、「インストール」をクリックします。</p> <p>処理に時間がかかりますので、しばらくお待ちください。</p>
 <p>Windows 11 をインストールしています</p> <p>PC は数回再起動します。少しお待ちください。</p> <p>0% 完了しました</p> <p>キャンセル(C)</p>	<p>手順9 インストールが始まります。処理に時間がかかりますので、しばらくお待ちください。</p>

操作画面	操作手順
	<p>手順10 Windows11のサインイン画面が表示されます。</p> <p>サインインした後、次の操作まで時間がかかりますので、しばらくお待ちください。</p>
	<p>手順11 デバイスのプライバシー設定の選択画面が表示されますので、適宜設定し、「同意」をクリックします。</p>
	<p>手順12 このような画面が表示されたら、続いて「STEP4 Windows11の利用にあたって」に進みます。</p>

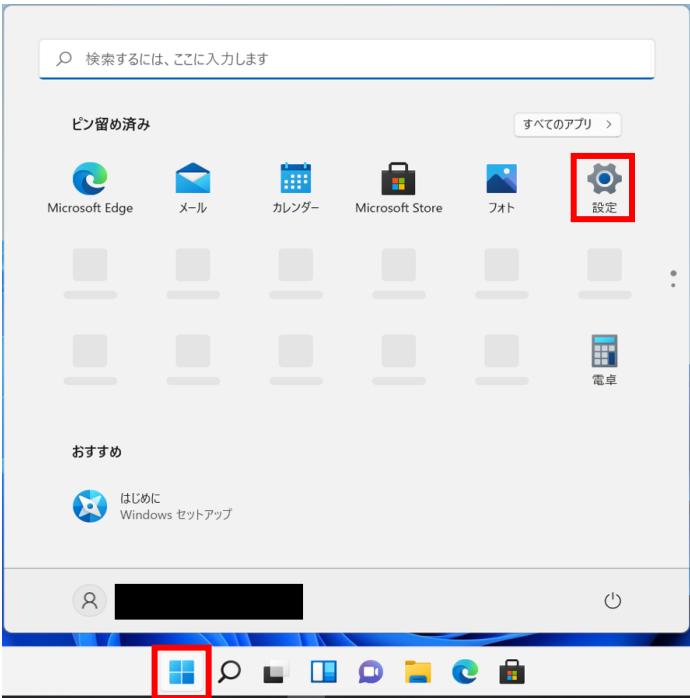
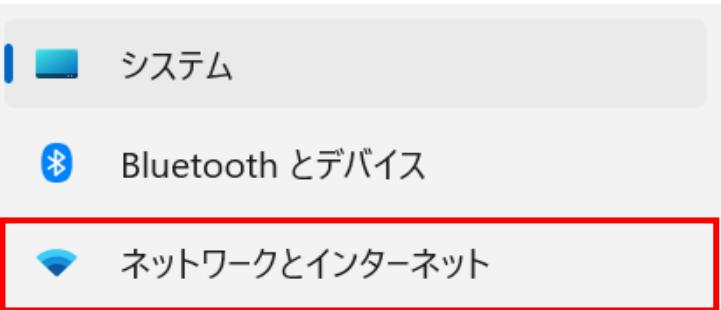
STEP4 Windows11の利用にあたって

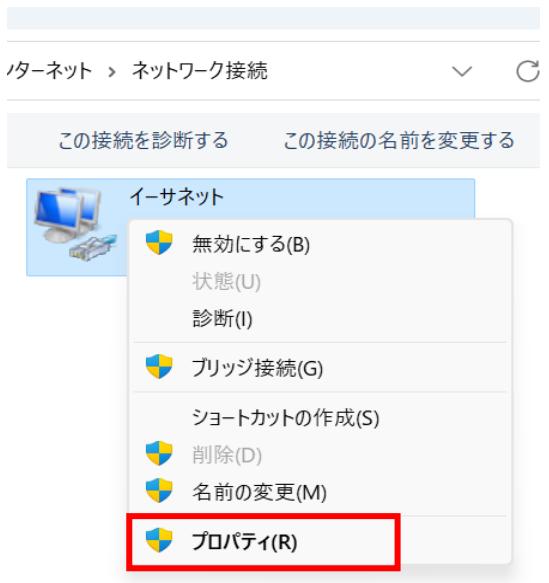
Windowsの利用にはライセンス認証が必要です。ライセンス認証は、インストール後30日以内に行う必要があります。期限を過ぎると、インストールしたWindowsが利用できなくなります。

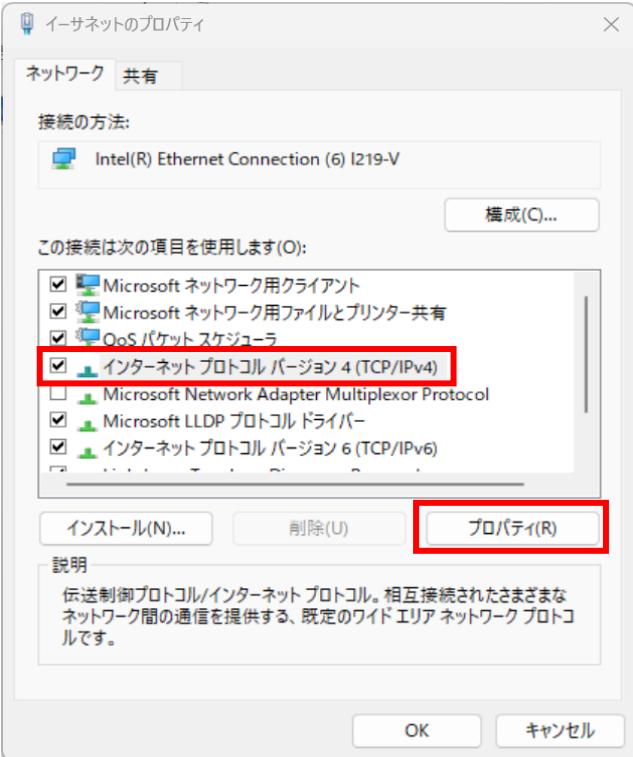
また、その後の定期的なライセンス認証は、コンピュータを学内ネットワークに接続していれば、7日毎に自動的に実行されます。学内ネットワークに接続していない等の理由で、最後のライセンス認証を実行した日から180日経過した場合、ライセンス認証の実行を促すメッセージが表示され、30日後にはWindowsが利用できなくなりますのでご注意ください。

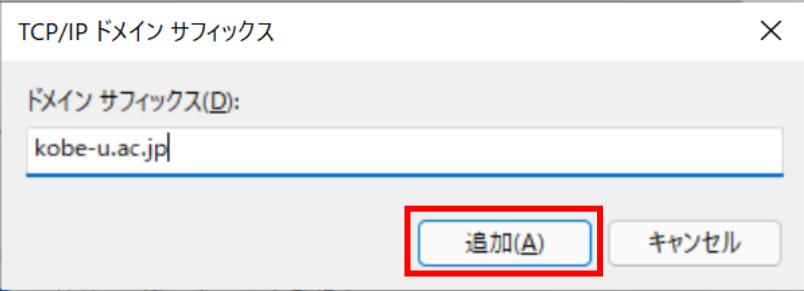
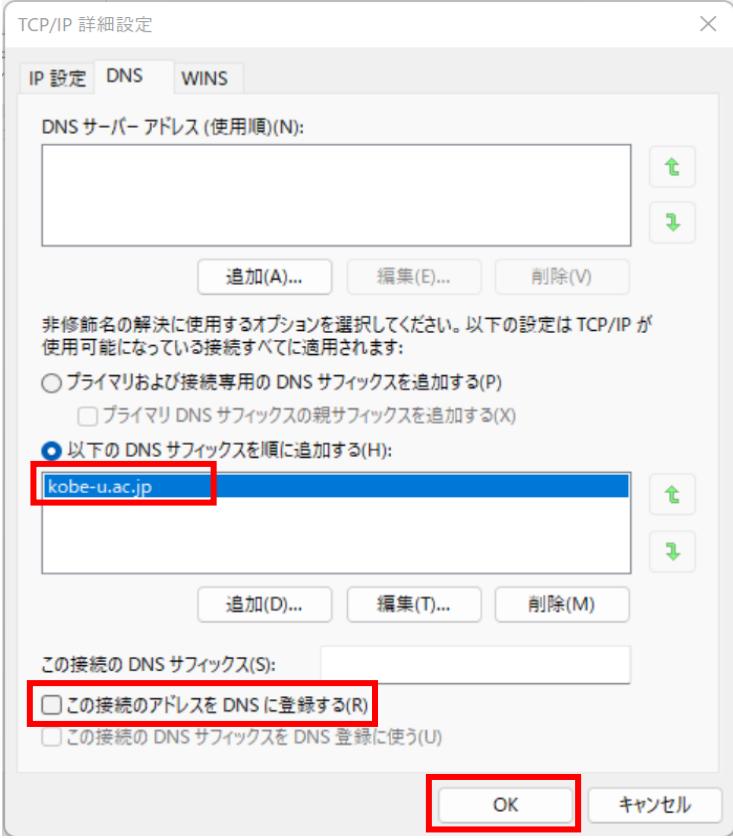
まずは、ライセンス認証するための準備として、DNSサフィックスの設定をします。既に設定している場合は、DNSサフィックスを追加する必要はありません。

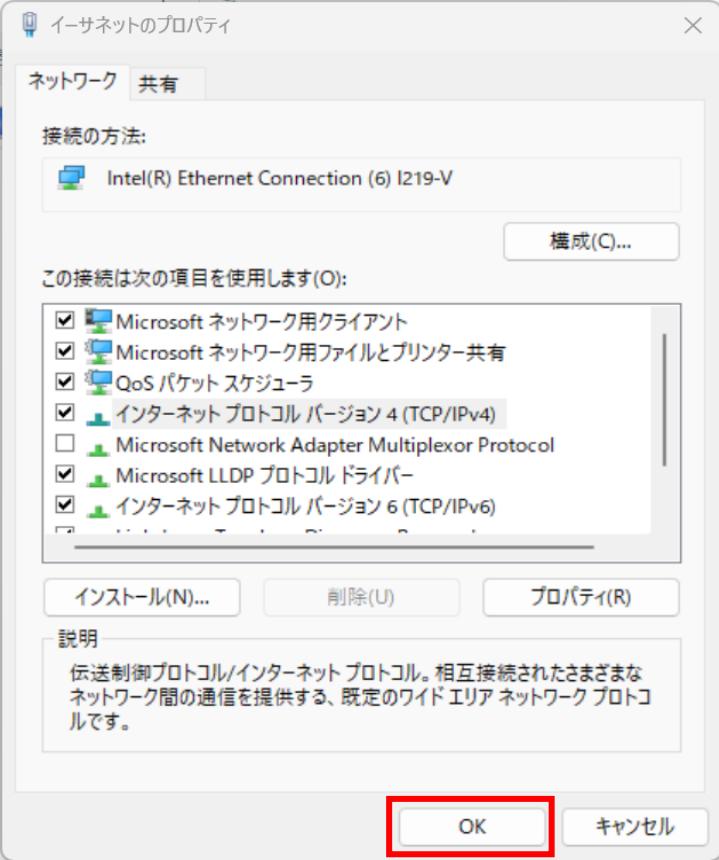
STEP4-1 DNSサフィックスの追加

操作画面	操作手順
	手順1 スタートメニューの「設定」をクリックします。
	手順2 画面左側メニューの「ネットワークとインターネット」をクリックします。

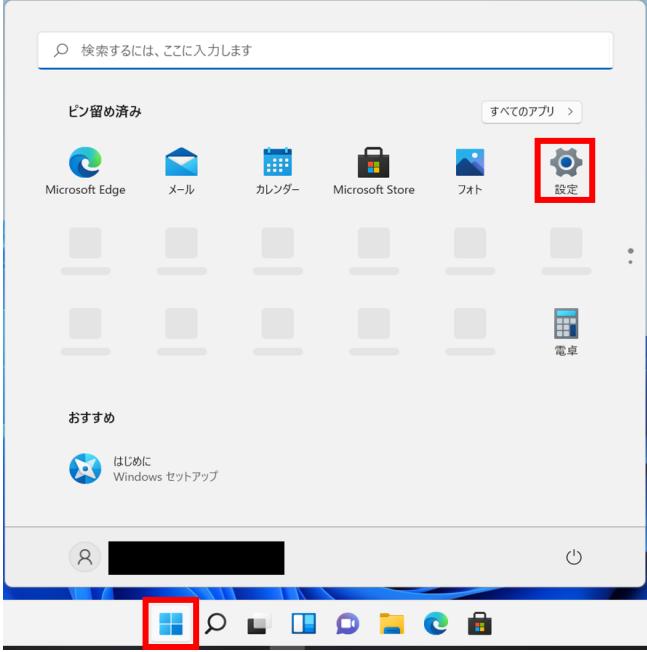
操作画面	操作手順
 <p>プロキシ Wi-Fi およびイーサネット接続向けプロキシ サーバー ></p> <p>ダイヤルアップ ダイヤルアップ インターネット接続をセットアップ ></p> <p>ネットワークの詳細設定 すべてのネットワーク アダプターを表示、ネットワークのリセット ></p>	<p>手順3 「ネットワークの詳細設定」をクリックします。</p>
 <p>関連設定</p> <p>ネットワーク アダプター オプションの詳細 [外部リンク]</p> <p>Windows ファイアウォール [外部リンク]</p>	<p>手順4 「ネットワーク アダプター オプションの詳細」をクリックします。</p>
 <p>ターネット > ネットワーク接続</p> <p>この接続を診断する この接続の名前を変更する</p> <p>イーサネット</p> <ul style="list-style-type: none"> 無効にする(B) 状態(U) 診断(I) ブリッジ接続(G) ショートカットの作成(S) 削除(D) 名前の変更(M) プロパティ(R) 	<p>手順5 「イーサネット」を選択した後、右クリックします。 「プロパティ」をクリックします。</p>

操作画面	操作手順
	<p>手順6 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」を選択した後、「プロパティ」をクリックします。</p>
	<p>手順7 「詳細設定」をクリックします。</p> <p>(補足) IPアドレス等、現在の設定を変更する必要はありません。</p>

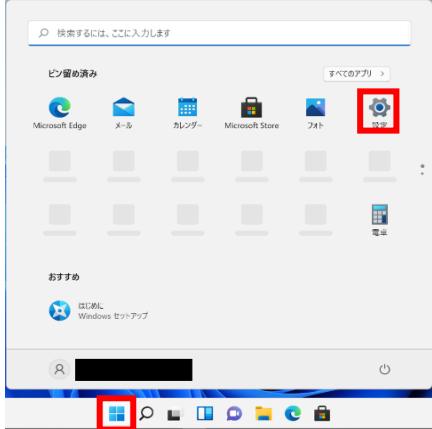
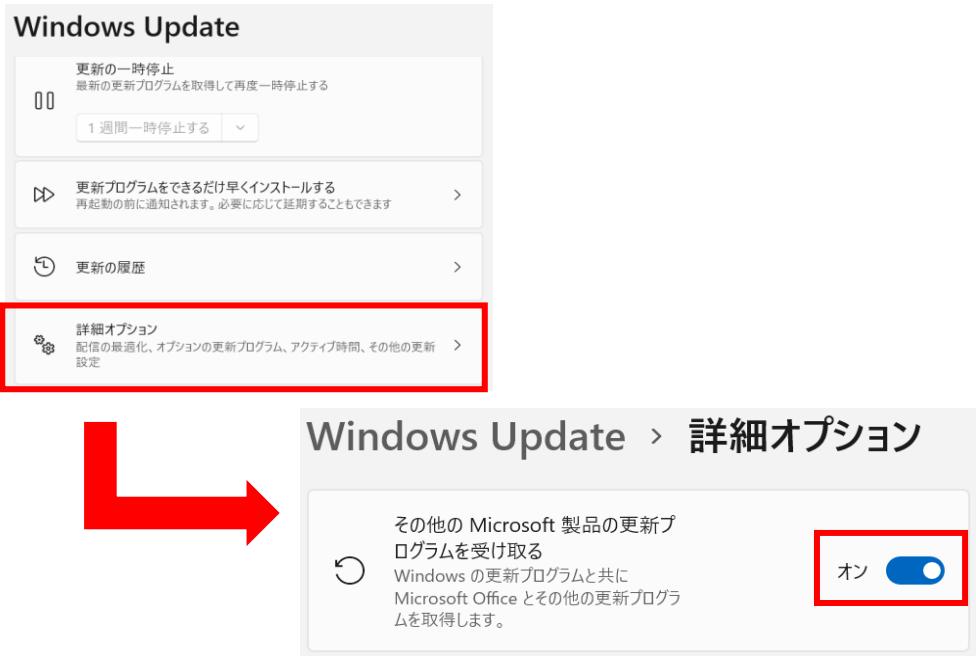
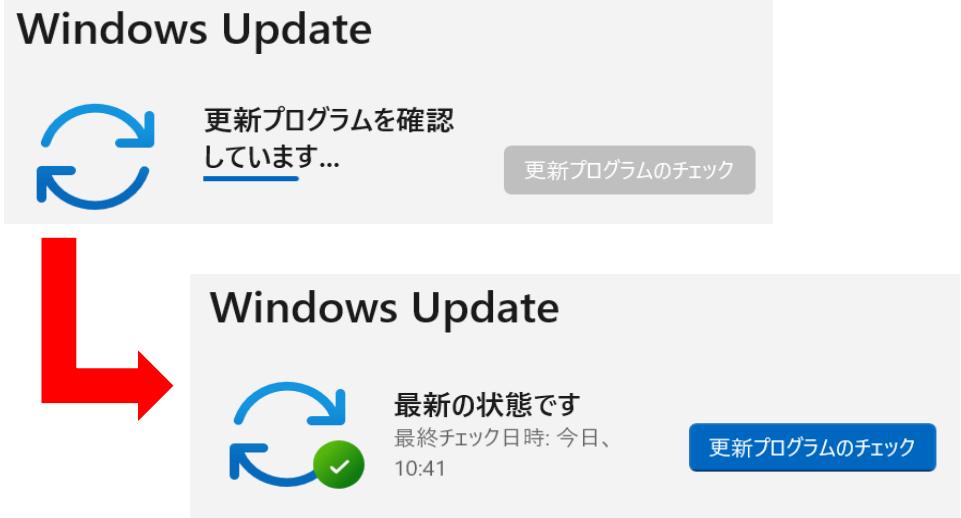
操作画面	操作手順
 <p>TCP/IP 詳細設定</p> <p>IP 設定 DNS WINS</p> <p>DNS サーバー アドレス (使用順)(N):</p> <p>追加(A)... 編集(E)... 削除(V)</p> <p>非修飾名の解決に使用するオプションを選択してください。以下の設定は TCP/IP が使用可能になっている接続すべてに適用されます:</p> <p><input type="radio"/> プライマリおよび接続専用の DNS サフィックスを追加する(P)</p> <p><input type="checkbox"/> プライマリ DNS サフィックスの親サフィックスを追加する(X)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 以下の DNS サフィックスを順に追加する(H):</p> <p>追加(D)... 編集(T)... 削除(M)</p> <p>この接続の DNS サフィックス(S):</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> この接続のアドレスを DNS に登録する(R)</p> <p><input type="checkbox"/> この接続の DNS サフィックスを DNS 登録に使う(U)</p> <p>OK キャンセル</p>	<p>手順8 「DNS」タブをクリックします。</p> <p>「以下のDNSサフィックスを順に追加する」を選択した後、その下にある「追加」をクリックします。</p>
 <p>TCP/IP ドメイン サフィックス</p> <p>ドメイン サフィックス(D):</p> <p>kobe-u.ac.jp</p> <p>追加(A) キャンセル</p>	<p>手順9 ドメイン サフィックス欄に「kobe-u.ac.jp」と入力し、「追加」をクリックします。</p>
 <p>TCP/IP 詳細設定</p> <p>IP 設定 DNS WINS</p> <p>DNS サーバー アドレス (使用順)(N):</p> <p>追加(A)... 編集(E)... 削除(V)</p> <p>非修飾名の解決に使用するオプションを選択してください。以下の設定は TCP/IP が使用可能になっている接続すべてに適用されます:</p> <p><input type="radio"/> プライマリおよび接続専用の DNS サフィックスを追加する(P)</p> <p><input type="checkbox"/> プライマリ DNS サフィックスの親サフィックスを追加する(X)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 以下の DNS サフィックスを順に追加する(H):</p> <p>kobe-u.ac.jp</p> <p>追加(D)... 編集(T)... 削除(M)</p> <p>この接続の DNS サフィックス(S):</p> <p><input type="checkbox"/> この接続のアドレスを DNS に登録する(R)</p> <p><input type="checkbox"/> この接続の DNS サフィックスを DNS 登録に使う(U)</p> <p>OK キャンセル</p>	<p>手順10 DNSサフィックス欄に、「kobe-u.ac.jp」が追加されていることを確認します。</p> <p>また、「この接続のアドレスをDNSに登録する」のチェックを外します。</p> <p>「OK」をクリックし、「TCP/IP詳細設定」画面を閉じます。</p>

操作画面	操作手順
	<p>手順1 1 「OK」をクリックし、「インターネット プロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)のプロパティ」画面を 閉じます。</p>
	<p>手順1 2 「OK」をクリックし、「イーサネット のプロパティ」画面を閉じます。</p> <p>これで設定は終了です。</p>

STEP4-2 ライセンス認証

操作画面	操作手順
	<p>手順1 ライセンス認証を行います。</p> <p>スタートメニューの「設定」をクリックします。</p>
	<p>手順2 「システム」内の「ライセンス認証」をクリックします。</p>
	<p>手順3 「ライセンス認証の状態」が、「Windows 11 Enterprise」（もしくは「Windows 11 Education」）となっていることを確認します。</p> <p>また、「V」（アクティブの右隣のボタン）をクリックし、「Windows は、組織のライセンス認証サービスを使用してライセンス認証されています」と表示されている場合、作業は終了となります。</p> <p>「ライセンス認証の状態」が、「アクティブではありません」と表示されている場合、追加したDNSサフィックス名が正しいことを確認し、コンピュータを再起動してください。</p>

STEP 4-3 Windows Update

操作画面	操作手順
	<p>手順1 スタートメニューの「設定」をクリックします。</p>
	<p>手順2 画面左側メニューの「Windows Update」をクリックします。</p>
	<p>手順3 「詳細オプション」をクリックします。</p> <p>更新プログラムのオプションにて、「その他の Microsoft 製品の更新プログラムを受け取る」を「オン」にします。</p> <p>（オフのままではOfficeの認証ができない場合があります）</p> <p>画面左上の矢印で前画面に戻ります。</p>
	<p>手順4 自動的にWindows Updateが実施されます。</p> <p>「最新の状態です」と表示されていれば、Windows Updateは完了です。</p> <p>自動的にWindows Updateが実施されない場合は、「更新プログラムのチェック」をクリックします。</p>